

トピックス

「平成22年度 原子力防災訓練」が開催されました

「平成22年度原子力防災訓練」（主催：宮城県，女川町，石巻市）が11月4日，5日の両日に開催されました。

訓練は女川原子力発電所2号機で配管が破断し，燃料が冷却できなくなる事故が発生したとの想定のもと，緊急時における通信連絡訓練，モニタリング訓練，避難訓練のほか，宮城県の防災ヘリコプターによる負傷者搬送訓練などの各種訓練が行われました。

今回の訓練には，国の関係機関，宮城県，女川町，石巻市，消防機関，医療機関や当社など約60団体と地域の方々あわせて約2,300人が参加し，原子力災害発生時の対応や体制などを確認しました。



▲宮城県原子力防災対策センターでの対策会議の様子。参加者は緊張感をもって訓練に取り組みました



▲被ばくした負傷者を仙台市の医療機関に搬送する緊急時医療活動訓練が行われました

トピックス

1号機への関係自治体による立入調査が実施されました

女川原子力発電所1号機の第19回定期検査が終了したことから，安全協定に基づく宮城県，女川町，石巻市の立入調査が11月10日に実施され，定期検査の主な点検項目に関する書類等の確認や定期検査中に発生した事象に関する対策の実施状況について現場確認などが行われました。

今回の確認の対象となった関係書類等においては，主な点検は適切に行われていたとされ，また，品質保証の取り組みについても良好であるとの評価をいただきました。

当発電所は今後も安全を最優先に取り組んでまいります。



▲現場における対策の実施状況などを確認いただきました

トピックス

品質月間にあたり講演会を実施しました

「品質月間^{*}」の活動の一環として，11月9日に当発電所において品質月間集会と講演会を開催しました。

品質月間集会では，品質保証・品質管理に優れた協力企業の表彰や品質月間標語の表彰を行いました。また，女川原子力発電所の前所長である佐久間洋福島支店長が支店や営業所等における業務の品質向上への取り組みについて講演を行い，参加者は品質保証・品質管理に対する意識を高めました。

^{*}各種団体が一丸となった品質管理の運動の中心として「品質月間委員会」が結成され，昭和35年に，毎年11月を「品質月間」とすることを決めました。



▲営業部門など他部門の取り組みに関する講演により，参加者の品質向上の意識が高まりました

《品質月間標語 優秀賞》

気づいていますか 小さな変化 伝えていませんか 小さな疑問 個々の意識で 高める品質
非破壊検査株式会社 落合 崇さん
慣れたところに起きるミス 初心の気持ちでチェックして 無くそう減らそうヒューマンエラー
日鋼検査サービス株式会社 佐藤 克彦さん

トピックス

2号機 第11回定期検査を開始しました

11月6日より約5カ月の予定で，女川原子力発電所2号機の第11回定期検査を開始しました。定期検査は，電気事業法に基づき，安全上重要な設備の機能や総合的な性能が国の定める基準に適合し，健全性が確保されていることを確認するために実施するものです。

今回の定期検査では，560体ある燃料集合体のうち，136体程度を新燃料に交換します。また，制御棒駆動機構の点検や配管の肉厚測定検査などを実施します。今回実施する検査や点検等の詳細は，東北電力ホームページ（<http://www.tohoku-epco.co.jp/>）をご覧ください。

【発電所の運転状況（11月末現在）】

号機	運転状況	主な動き
1号機	運転中	順調に運転しています
2号機	定期検査中	11月6日に第11回定期検査を開始しました
3号機	運転中	11月25日に第6回定期検査を終了しました

「第9回 東北電力図画コンクール表彰式」を開催 女川原子力PRセンターで全作品を展示しています

11月21日に女川原子力PRセンターにおいて「第9回東北電力図画コンクール」の表彰式を開催し、最優秀賞をはじめ37点の入賞作品の表彰を行いました。

今回の図画コンクールには、これまで最多となる4,770名の方からご応募いただきました。ご応募いただいた皆さま、ありがとうございました。

12月24日まで女川原子力PRセンターで全作品を展示しています。

展示期間中にご来場いただいたお子さまには女川原子力PRセンターのキャラクター“ごろたん”の「えんぴつ&消しゴムセット」を、また、先着300組のご家族に「図画コンクールオリジナルカレンダー」をプレゼントいたします。ぜひ皆さまお誘いあわせの上、ご来場ください。



▲入賞された皆さんと記念撮影

女川原子力PRセンター／TEL0225-53-3410 FAX0225-53-3286
開館時間／午前9時30分～午後4時30分、休館日／毎月第3月曜日（祝日の場合翌日）・年末年始

《最優秀賞・優秀賞 入賞作品》

最優秀賞



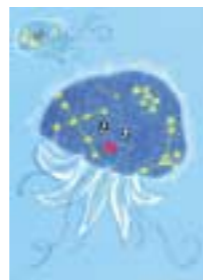
「シールド スクイード
(護守王烏賊)」
加藤 皓さん (石巻市)

優秀賞



「フグぷら〜」
小泉 理桜さん (石巻市)

優秀賞



「プラネタリウムクラゲ」
木村 有汰さん (石巻市)

優秀賞



「なかよしスイーツランド♡」
佐藤 可奈さん (東松島市)

優秀賞



「水そうカメとフルーツの魚たち」
桜井 萌子さん (石巻市)

優秀賞



「みんな、いっくよ〜!!!」
小林 麗朱さん (石巻市)

優秀賞



「魚たちの花火大会」
大友 みのりさん (東松島市)

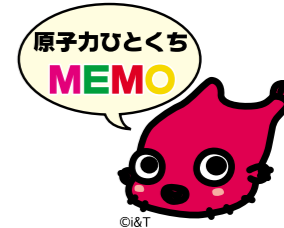
優秀賞



「海と宇宙のハーモニー♪」
伊達 瑞恵さん (石巻市)

* 東北電力のプルサーマル計画について *

現在、当社では、安全確保を最優先に、女川原子力発電所3号機における2015年度までのプルサーマルの実施に向けた取り組みを進めておりますので、最近の取り組み状況などについてお知らせいたします。



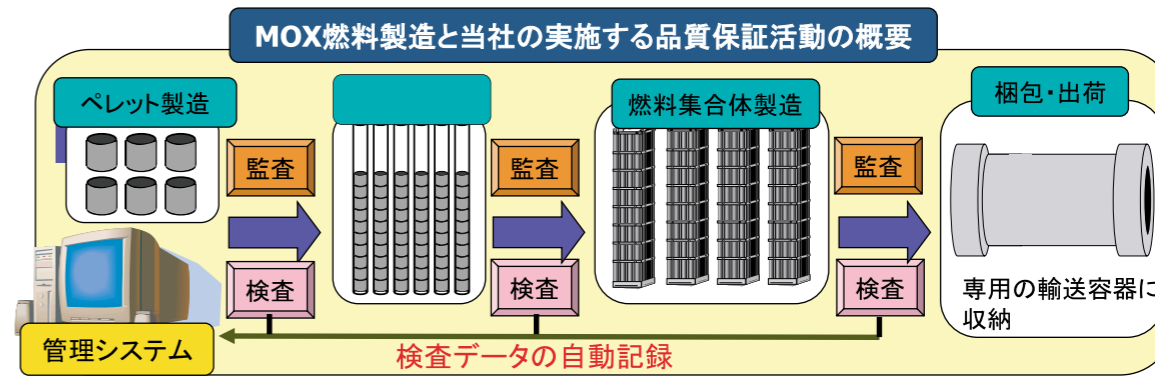
●MOX燃料調達に関する契約前監査の結果について

プルサーマルで使用する燃料(MOX燃料)^{モックス}※は、MOX燃料の設計等を行っているグローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン(GNF-J)^{ジーエヌエフ ジェイ}を契約先とし、GNF-Jからの委託により、MOX燃料の加工施設を有しているフランスのメロックス社で製造する予定です。

当社は、品質保証活動として、平成22年7月16日にGNF-Jにおいて、また、平成22年9月8日～9日にメロックス社において契約前監査を実施し、「品質保証」、「教育・訓練」、「コミュニケーション」、「製造管理」、「データ管理」等の各項目について、文書・記録の確認や現場確認等を行いました。

監査の結果、GNF-JがMOX燃料設計、製造管理等の技術的能力を有していること、メロックス社がMOX燃料製造の技術的能力を有していること、また、両社においてISO9001(品質マネジメントシステムの国際規格)に基づく品質保証の仕組み、体制等が適切に構築・維持されていることを確認しました。

なお、当社は、製造期間中、社員をメロックス社に派遣するとともに、加工の各段階に応じて監査・検査などを実施していくこととしております。



※原子力発電所で使用したウラン燃料を再処理してプルトニウムを取り出し、ウランと混ぜて新しい燃料(MOX燃料)を作ります。このMOX燃料を再び原子力発電所で利用して発電するのがプルサーマルです。